

原水爆資料館（仮称）の自力建設について
かねて平和協会では、第五福竜丸展示館付属の建設を東京都に要望して参りましたが、都財政の極度の逼迫のため、その実現は不可能となりました。平和協会は事態を重視し、何

去る六月十日。第五福竜丸展示館の二周年記念日を迎えました。その日、平和協会では、これを記念し、「展示館見学と懇談の集い」を午後二時より展示館で開催しました。

「集い」には、新日本婦人の会、日本平和委員会、東京建設従業員組合、都区職労港湾支部、都区職労江東支部の代表、評議員本多喜美女史、賛助会員の猿橋勝子女史、吉村道興氏、

開館二周年見学と懇談の集い 意義ある記念の催し

4. 参観者の感想文)をもとに、広田重道協会専務理事が展示館の年間報告を行ない、その中で

「月平均三千六百人余、毎日五十人以上の平和集会をしていくことになる。雨が降ろうが風が吹こうと、来館者がゼロの日はなかつた。しかし、もつと展示館の存在を知らせ、とくに今進のため、ご協力下さるようお願いしたい。」と訴え、参加者がからも様々な意見が出されました。このあと、鹿田敏彦事務局長の案内で館内を見学、午後四時閉幕しました。

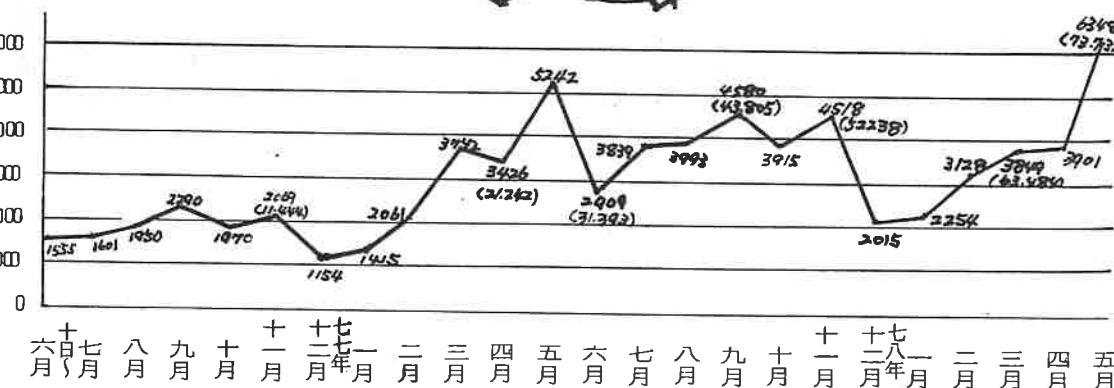
△展示館もやつと満二年の誕生日を迎えた。これまで育ててきた者にとっては、やれやれという思いです。
△満二才といえば、自分の足で立ち、一人前にふるまうことでもできる筈ですが、やはり危くてきた者にとっては、やれやれという思いです。
△展示館もやつと満二年の誕生日を迎えた。これまで育ててきた者にとっては、やれやれという思いです。
△夢の島公園の充実のために釣り場や都民菜園を作つて頂きました。△人の場合も施設でも、そのお財・第五福竜丸の殿堂として認められるようになりますが、これからどう進ましく育つか、むづかしい年命に入りました。
△展示館も都民権を得て、文化財・第五福竜丸の殿堂として認められるようになりますが、これからどう進ましく育つか、むづかしい年命に入りました。
△多くの都民が、とくに青少年の教育に重大関心をもたれる都民が展示館を真剣に考えて頂くことこそ、その解決の道です。

編集後記

(1) 都立・第五福竜丸展示館は、去る六月十日で、オープンへらい一周年を迎えました。平和協会は、世界にも類例を見ないユニークなこの展示館の管理・運営を担当し、これまで二年間、大過なくその任務を果たしてきました。

この間、三回の展示替によつて展示物の充実と、来館者の理解を促すための努力をつづけ、また、記念集会や、江東名物となつた新春凧上げ大会などをひらき、より多くの人びとの見学

展示館への来館者が、通算七四〇〇名に達し、今年度は、昨年度を一万五千人も上まわる增加を示しています。夢の島公園が次第に整備され、りました。都バス路線の開通、都立総合体育館、江東区老人憩いの家、野球場のオープンなどに伴い展示館の存在が次第に知られてきたことから、とくに七七年三月以後の来館者の増加には目を見張



福竜丸だより

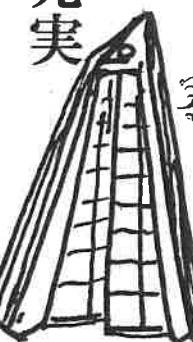
都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

二周年を迎える

ますます内容充実



展示館には、来館者が意見や

を説いており、それなりの成果をあげてきました。

年間の来館者数を比べると、新たな一年を迎えるに当たり、第一年度の二九七〇三名に対し去る五月二三日、別項のように第二年度が四四八九七名と、約平和協会代表が都知事室を訪れ、一万五千人上まわっています。

一日平均では、二四七五名が三

「原水爆資料館」の建設、第五福竜丸の重要な文化財指定など、協会が新たにとり組みはじめた課題を持ち出し、都知事も協力

・援助を表明されました。

名と、五〇名ふえていました。

—感想文—

ノート二冊分に—

去る五月二三日午前10時、平和協会三宅泰雄会長、広田重道専務理事、田沼肇理事の三名は知事室を訪れ、美濃部知事と懇談しました。

最初に三宅会長から第五福竜丸展示館の近況の報告をかねて将来のことについてご懇談のために参りましたと挨拶のあと、広田専務から開館いらい二年に近く七万人をこえる来館者があり、一ヶ月平均三一〇〇名、一日平均一二〇名となつていてることを報告しました。